

— 2015年の事業計画をお聞かせください。

蜂蜜をはじめとする蜂産品の製造販売部門では安全性を高める取り組みを行います。蜂産品は原料のおよそ5割を中国から輸入していますが、消費者の間には中国産食品に対する不安が生じています。特に、当社は医薬品原料としての蜂産品を手掛けており、より高い安全性が求められます。

そこで、昨春に稼働を始めた本巢市の新工場に、残留農薬や細菌を排除するための設備増強を行い、安全管理体制を徹



株式会社 秋田屋本店



代表取締役社長 中村 正氏

底します。新工場は生産能力も旧工場の3倍を備えており、今後の成長基盤として期待しています。

相手先ブランドによるチアバックを製造するOEM部門では工場に新施設を建設

新製品を核に、通

し、医薬用に対応した設備を導入します。医療、介護分野での利用が拡大すると考えられ、増産体制を整えます。

— 業界環境はいかがですか。
原料の輸入価格が大幅に上がっています。

その要因はまず円安。さらに、内需の拡大する中国が強気の値上げ姿勢のためダブルパンチとなっています。

— 岐阜大学との共同研究の成果を発表されましたが、今後の展開は。
— 今後のポイントは研究成果の具現化であり、製品開発に力を入れます。ほぼ完成した製品もあり、夏をめどに発売できる予定です。

信販売も強化

当社は研究開発型の会社を目指し、2組の研究チームが大学と連携して活動しています。両チームが特許の取得や学術誌への発表といった成果を挙げはじめ、その一つが昨年発表したローヤルゼリー

この新製品を核に、通信販売も強化していくと考えています。

— 社会貢献活動の計画はありますか。
私が理事長を務める博物館、公益財団法人みつばちの家(岐阜市椿洞)を

今後3年かけてリニューアルする計画です。



会社概要

〒500-8471 岐阜市加納富士町1丁目1番地
TEL.058-272-1221

創業 1804年 養蜂部創設/1887年
設立 1961年11月28日
資本金 5,000万円
従業員数 300人
事業内容 ミツバチ産品・養蜂資材の製造・販売、医薬品・食品製造業
事業所 城南事業所(養蜂部)
営業所 東京営業所
工場 洞戸工場、薬師工場、本巢屋井工場、本社工場
養蜂場 伊自良養蜂場
関連会社 日本養蜂株式会社、ハネックス株式会社

オンラインショップ <http://akipure.com>

<http://www.akitayahonten.co.jp>